

カキ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	灰色かび病	落葉病	黒星病	炭疽病	うどんこ病	黒点病	すす点病	(ゆ込込防止)進
イオウFL	M2		*e	-					◎			
クムラス顆水	M2		-	-					◎			
石灰硫黄合剤	M2		-	-			◎		◎			
トップジンM水	1		1	6		◎		◎	◎		◎	
トップジンMペースト	1		*c	3								◎
ベンレート水	1		1	6		◎		◎	◎		◎	
アフエットFL	7		1	3		◎						
カナメFL	7	劇	1	3					◎			
ケンジャFL	7		14	3	◎	◎			◎			
パレード15FL	7		1	2		◎			◎			
フルーツセイバーFL	7		1	3	◎	◎		◎	◎		◎	
アミスター10FL	11		7	3		◎		◎	◎	◎	◎	
スクレアFL	11		1	3	◎	◎		◎	◎			
ストロビーDF	11		14	3	◎	◎		◎	◎			
ファンタジスタ顆水	11		7	3	◎	◎		◎	◎			
フリントFL25	11		1	3		◎		◎	◎			
フロンサイドSC	29		45	1	◎	◎		◎				
フルピカFL	9		14	5	◎				◎			
アンビルFL	3		7	3					◎			
インダーFL	3		7	2		◎		◎	◎			
オンリーワンFL	3		1	3	◎	◎		◎	◎			
サブロール乳	3		14	4					◎			
スコア顆水	3		1	3		◎		◎	◎			
トリフミン水	3		1	3					◎	◎		
ルビゲン水	3		21	3					◎			
オキシンドー水80	M1		14	5		◎		◎	◎			
キノンドーFL	M1		14	5		◎		◎	◎			

カ

キ

カキ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	ア ザ ミ ウ マ	カ キ ダ ア ザ ミ ウ マ	チ ヤ ノ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	カ キ ノ ヒ メ ヨ コ バ イ	カ イ ガ ラ ム シ	カ キ ノ ヘ タ ム シ	カ キ ノ ホ ソ ン	フ タ モ ン ダ ラ メ イ	ハ マ キ ム シ	イ ラ ガ バ	ス カ シ カ バ	ヒ メ コ ス カ シ	ケ ム シ	ア メ リ カ シ ロ ヒ ト リ	ミ ノ ガ	カ ミ キ リ ム シ	カ キ サ ビ ニ ダ	ハ ダ ニ 類	
バシレックス水	11A		*b	-							◎			◎									
ハーベストオイル	UNM		*a	-					◎														
オリオン水40	1A	劇	21	1	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎				◎	◎				
エルサン水	1B		30	4	◎	◎	◎		コ	◎	◎												
オルトラン水	1B		45	2		◎	◎		フ	◎													
ガットサイドS乳	1B		*d	2									カ			◎							
ジェイエース溶	1B		45	2		◎	◎				◎												
スミチオン乳*	1B		30	3					オ	◎	◎	◎		◎	◎				◎	若			
ダイアジノン水34	1B	劇	45	4					お					◎					◎				
マラソン乳	1B		30	4					◎					◎	◎								
キラップFL	2B		7	2	◎	◎	◎			◎													
MR. ジョーカー水	3A		14	2		◎	◎		◎	◎													
アークリンク水	3A		30	3		◎	◎		◎	◎				◎								チ	
アーデントFL	3A		1	3	◎	◎	◎		◎	◎													◎
アグロスリン水	3A	劇	1	3	◎	◎	◎		◎	◎													
アディオン乳	3A		7	5		◎	◎		◎	◎								◎	◎				
スカウトFL	3A	劇	7	5	◎	◎	◎		◎	◎													
テルスター水	3A		14	2		◎	◎	◎	◎														◎
テルスターFL	3A	劇	3	2		◎			◎	◎													
トレボン水	3A		30	3		◎	◎		◎	◎			◎									チ	
バイスロイドEW	3A	劇	14	3		◎	◎			◎													
マブリックEW	3A	劇	30	2		◎			◎	◎				◎								◎	
マブリック水20	3A	劇	30	2		◎			◎	◎				◎								◎	
ロディー水	3A	劇	7	3		◎	◎		◎	◎			◎										
ロビンフッドエアゾル	3A		1	5											◎	◎						◎	
アクタラ顆溶	4A		3	3	◎	◎	◎		コ	◎	◎												
アドマイヤー顆水	4A	劇	*f	3	◎	◎	◎		コ	◎													
アルバリン顆溶	4A		1	3	◎	◎	◎		コ	◎	◎												
スタークル顆溶	4A		*e	1					コ														
ベストガード溶	4A		7	3			◎																
ダントツ溶	4A		7	3	◎	◎	◎	◎	コ	◎	◎												
モスピラン顆溶	4A	劇	1	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎													
トランスフォームFL	4C		1	3					◎														
ディアナWDG	5		1	2	◎	◎	◎				◎			◎									
デリゲートWDG	5		1	2	◎						◎			◎									
コルト顆水	9B		1	3		◎		◎															
ニッソラン水	10A		7	2																			◎
コテツFL	13	劇	14	2	◎	◎	◎			◎				◎								◎	ナ
バダンSG溶	14	劇	45	4		◎				◎	◎	カ		イ									
アタブロンSC	15		14	3		◎				◎			◎										
カスケード乳	15		14	2	キ					◎			◎					◎	◎				

カ

キ

カキ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	ア	カ	チ	カ	カ	カ	カ	フ	ハ	イ	ス	ケ	ア	ミ	カ	カ	ハ	
					キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ	キ
ノーモルト乳	15		30	3							◎			◎								
アブロード水	16		*g	2					幼													
マイトコーネFL	20D		7	1																		◎
サンマイト水	21A	劇	14	2			◎◎															◎◎
ダニトロンFL	21A		7	1																		◎
ピラニカ水	21A	劇	21	1																		◎◎
モベントFL	23		7	3	◎	◎	◎		◎													
スターマイトFL	25A		1	1																		◎
ダニサラバFL	25A		1	2																		◎
ダニコングFL	25B		1	1																		◎
サムコルFL10	28		1	3						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
テッパン液	28		1	2	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
フェニックスFL	28		7	2						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			*h	1							◎			◎	◎							
ヨーバルFL	28		1	2						◎		◎										
ウララDF	29		14	2																		
キックオフ顆水	4A・28		1	3	◎	◎	◎		◎	◎												◎◎

*商品によって適用害虫が異なる。

*a:発芽前

*b:発生初期(但し収穫前日まで)

*c:成虫発生初期～終期

*d:産卵期～幼虫食入初期(但し収穫45日前まで)

*e:発芽前～発芽期

*f:収穫7日前まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)

*g:開花期まで(但し収穫45日前まで)

*h:開花期まで

イ:イラガ

オ:オオワタコナカイガラムシ及びフジコナカイガラムシ

カ:カキノキマダラメイガ

キ:カキクダアザミウマ

コ:コナカイガラムシ類

チ:チャミノガ

ナ:ナミハダニ及びカンザワハダニ

ヒ:ヒロヘリアオイラガ

フ:フジコナカイガラムシ

お:オオワタコナカイガラムシ若齢幼虫

幼:幼虫

若:若齢幼虫

カ

キ

カキ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
落葉病	休眠期	・落葉を集めて処分する。	落葉病には、角斑落葉病と円星落葉病がある。 円星落葉病の発生が多いので6月上旬～7月上旬の散布が重要である。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	6月上旬～7月上旬・9月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 フロンサイドSC (FL) 2000倍 ベンレート水和剤● 2000～3000倍 ファンタジスタ顆粒水和剤● 3000～4000倍 ラビライト水和剤● 500～800倍	
黒星病		1. 窒素肥料は元肥を主体にし、過用しない。 2. 枝がこみあわないよう間伐する。 3. 病枝は切り取り、処分する。 4. 園内は排水を良好にする。	春と秋に雨が続くと多発しやすい。 次郎、禅寺丸は発生しやすい。
	発芽前 (3月下旬)	・次の薬剤を散布する。 石灰硫黄合剤 100倍	
	生育期	・次の薬剤を散布する。 ベルコート水和剤 1000～1500倍	
炭疽病		1. 窒素肥料は元肥を主体にし、過用しない。 2. 枝がこみあわないよう間伐する。 3. 病枝は切り取り、処分する。 4. 園内は排水を良好にする。 5. 剪定枝や落ち葉は翌年の伝染源となるので園内に放置しない。	春と秋に雨が続くと多発しやすい。 富有は発生しやすい。
	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 キノンドーフロアブル 800～1000倍 スコア顆粒水和剤● 3000倍 ベルコート水和剤 1000～1500倍	
うどんこ病	発芽前	1. 発病園では早めに落葉を集めて処分する。 2. 次の薬剤を散布する。 石灰硫黄合剤 100倍	●DMI剤は連用しない。
	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 ベルコート水和剤 1000～1500倍 トリフミン水和剤● 2000～3000倍	

カ

キ

カキ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
カキクダ アザミウ マ	展葉期およ び6月頃	1. 光反射シルバーマルチなどの設 置により成虫の飛来を回避する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アクタラ顆粒水溶剤# 2000倍 アディオン乳剤 2000倍 オリオン水和剤40# 1000倍 コテツフロアブル# 2000～4000倍	加害葉は捲葉となる ので発生に注意する。 幼虫や新成虫が幼果を 加害する。 #アザミウマ類での登 録
チャノキ イロアザ ミウマ	冬期 6月上旬～ 7月上旬	・粗皮を削り、集めて焼却など処 分し成虫を防除する。 ・次の薬剤のいずれかを散布する。 アクタラ顆粒水溶剤# 2000倍 アディオン乳剤 2000～3000倍 アドマイヤー顆粒水和剤#*a 5000～10000倍 ウララDF 2000倍 コテツフロアブル# 2000～4000倍 パダンSG水溶剤 1500倍 ロディー水和剤 1500倍	#アザミウマ類での登 録 *a露地栽培については 発芽期から開花期を除 く
フジコナ カイガラ ムシ	休眠期 6月下旬 (幼虫ふ化 期)・7～8 月・9月	・粗皮削りやバンド誘殺を行う。 ・次の薬剤のいずれかを散布する。 オリオン水和剤40# 1000倍 スミチオン乳剤 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000～4000倍	年3回発生 卵のう形成後は幼虫 のふ化を待って薬剤散 布をする。 #カイガラムシ類での 登録
ツノロウ ムシ	剪定時 7月上旬～ 8月上旬	・剪定時に除去する。 ・幼虫時に、次の薬剤を散布する。 トランスフォームフロアブル# 1000～2000倍 コルト顆粒水和剤# 2000～3000倍 モベントフロアブル# 2000倍	年1回発生 #カイガラムシ類での 登録

カ

キ

